

都会っ子、雪に大喜び

北上・西和賀 観光連絡協 品川でイベント

北上・西和賀観光連絡協議会(会長・高橋敏彦(北上市長))は8日、東京都品川区のしながわ中央公園多目的広場で雪イベントを開催した。北上・西和賀両市町の地域資源である雪を都内へ持ち込んで楽しんでもらう取り組み。雪遊びコーナーと観光PRコーナーが設置され、親子連れらが詰め掛けた。

雪イベントは同市が江東区に提案したことがきっかけで2013年から

始まり、15年からは両市の行政や観光関係団体などつくる同協議会が実施主体となって開催。今回は品川区主催の「わっくわくランドしながわ」のイベントの一つとして実施された。同日の都内は朝から青空が広がる絶好のイベント日和。雪遊びコーナーには夏油高原スキー場の雪8cmで作られた長さ約5mの滑り台と高さ1mほどの雪山が設置され、子供たちが歓声を上げな

がら雪の感触を楽しんでいた。初めて雪に触ったという同区の男子は「冷たい」と笑顔で雪と戯れていた。観光PRコーナーでは両市町自慢の当地グルメや自然が紹介されたパンフレット、同町のマスコットキャラクター・カタクリンちゃんのバッジなどを配布。同市がメイン会場となる希望郷いわて国体と希望郷いわて大会をアピールする映像

も流された。及川勝彦市商業観光課長は「今年も雪を通して東京の子供たちに笑顔を届けることができた。雪をきっかけとした首都圏とのさらなる交流を図るほか、観光や物産のPRにもつながってきたい」と話していた。

同協議会は、15日に江東区の猿江園賜公園、22日に荒川区のあらかわ遊園ふあふあランド付近でも雪イベントを開催する。時間は午前10時30分



(22日は9時30分)〜午後3時30分。参加無料。

東京都で開催された「わっくわくランドしながわ」の雪遊びコーナーで雪と戯れる子供たち